

FisCOMM GOLD

金の投資判断に必要な情報がここに凝縮されています。
毎週月曜日午後発行



発行日 : 2010/1/18

前営業日のNY金の動き



先週末のNY金2月限は12.50ドル安の1130.50ドル。ギリシャの財務悪化や中国の金融引き締め政策への転換を背景に、世界経済の回復の遅れに対する懸念がくすぶり、外国為替相場ではドル高・ユーロ安が進行。これを嫌気した売りに、前日引値を大幅に下回る水準で寄り付いた。昨年12月の米消費者物価指数(CPI)が前月比0.1%上昇と物価動向の落ち着きを示したことから、インフレヘッジとしての金塊の投資妙味が減退。また、1月のNY州製造業景況指数、ミシガン大学の消費者景況感指数(暫定値)もそろって改善したものの、リスク投資意欲の回復には力不足と受け止められた。このため、午前中の早い段階でこの日の安値を付け、その後も断続的な売りが出た。CFTCが前日、エネルギー商品先物を対象に導入を検討中の持ち高規制を金塊などにも拡大する可能性を明らかにしたが、これも圧迫材料となったよう。

18日の東京金は続落。日中立ち合いは買方の手仕舞いが先行して始まったが、その後は、同時間外取引の戻りを受け、やや下げ幅を縮小した。中心限月の12月先限は前週末比18円安の3324円で取引を終えた。他限月の終値は同17~19円安。

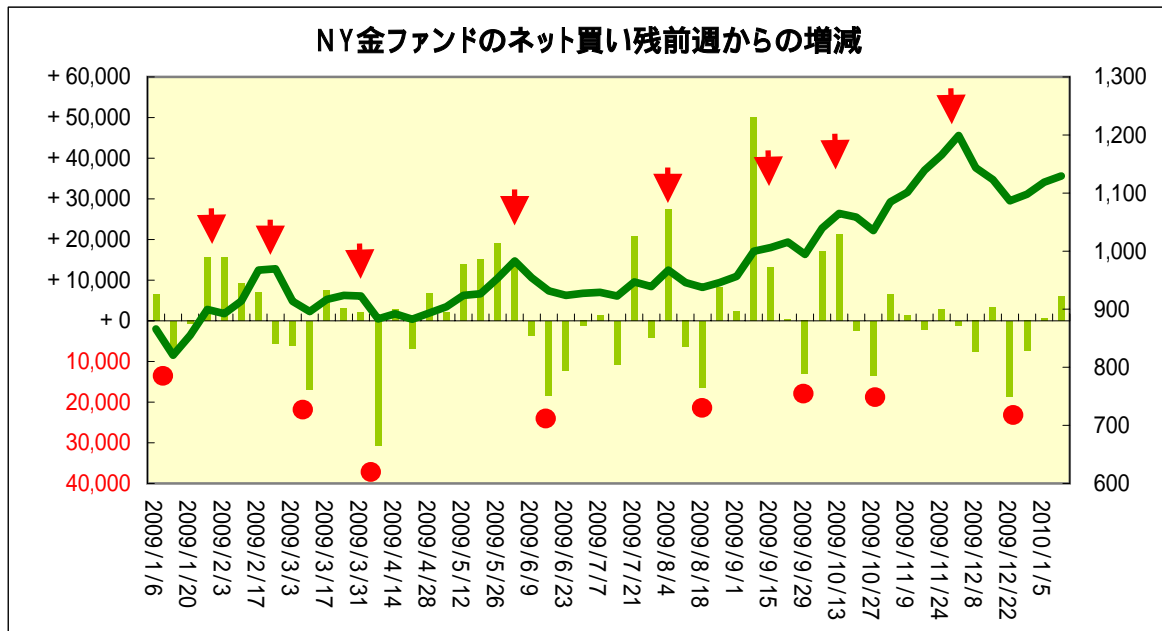
金ETFの残高

2010年1月15日時点

ETF名称	取引所	残高(トン)	金額	前週比
			(千ドル)	(トン)
SPDR(R) Gold Share	NY証券取引所	1,112.84	40,351	6.70
	シンガポール証券取引所			
	香港証券取引所			
	東京証券取引所			
Gold Bullion Securities	ロンドン証券取引所	124.09	4,513	0.05
	ユーロネクストパリ			
	イタリア証券取引所			
	フランクフルト証券取引所			
Gold Bullion Securities	オーストラリア証券取引所	15.37	559	+0.00
New Gold Deventures	ヨハネスブルグ証券取引所	52.53	1,922	0.49
NASDAQ Dubai	ドバイ金取引所	0.16	6	+0.00
合計		1,304.98	47,351	7.25

TOPICs ファンドのネット買い残が大きく減少したのは、2009年は8回だった。

金のファンドのネット買い残は、いつも増えているわけではない。金先物投資の特性は、利食い売りしなければ利益が出ないキャ主フローの無い投資手法であることだ。従って、ファンドは買ったらいずれ必ず利食い売りする。それが一つのファンドだけでなく、たくさんのファンドが一斉に利食いたり大きな建て玉を利食いするときは価格が下がる。昨年ファンドのネット買い残が前週から大きく減少した時は価格は大きく下がっていた。



出所：CFTC

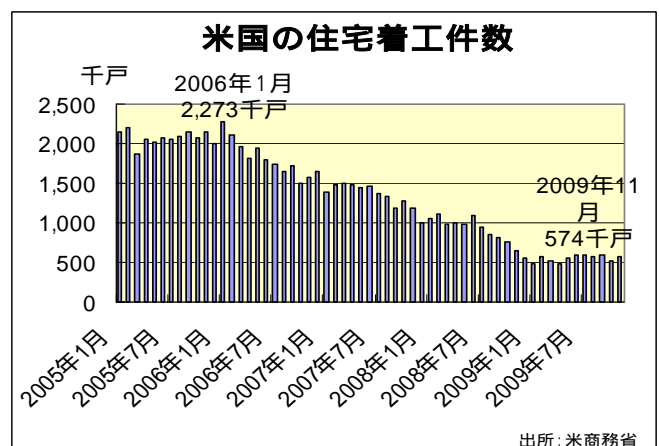
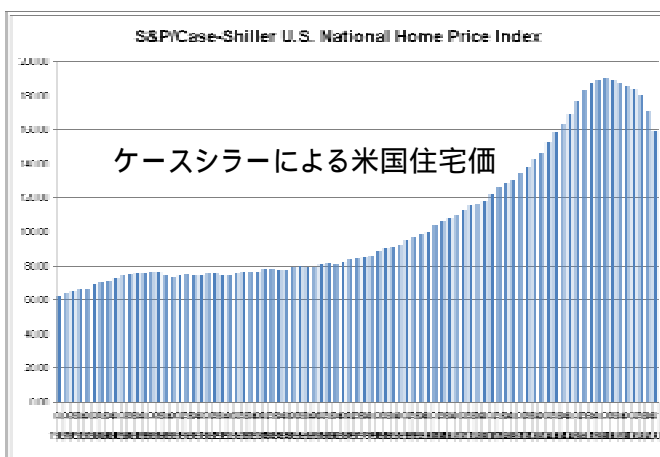
TOPICs 米国住宅ローン問題

米国がGREAT DEFLATION(大不況)に陥ったのは、住宅価格の下落から端を発している。住宅価格の下落が、住宅ローンの借り換えを不可能にし、借り換えできない人々の返済額が減少することがなかったため、サブプライムローンの返済が滞った。サブプライムローン債権は、CREDIT DEFAULT SWAP等の手法により広く金融機関の損害に拡散し、これを保証していたモノローンの破綻により保険会社まで被害者となった。

米国では、担保価値が下落すると返済金額も減少するというノンリコースローンが主流のため、返済不能に陥った人々の不良債権は不動産価格の値下がり分まで金融機関がかぶることになった。

住宅バブルの崩壊は、住宅着工件数を減少させて不動産業界に不況をもたらしたばかりでなく、金融界を巻き込んで全米規模に広がった。昨年今年に入っても、140行の倒産を見せた米国金融機関は、今年に入って半月だが既に4行を倒産させ、582行の銀行経営が不安であるという。

そんな中で、サブプライム残高は減少しているが、今度は、OPTION ARMという変動金利型ローンの行方が怪しくなっている。金利が一定の時間が経過すると、高くなる仕組みのこのローンは、サブプライムローンに匹敵する大きな残高となっており、いずれ返済不能の人が多くなるのではないだろうか。

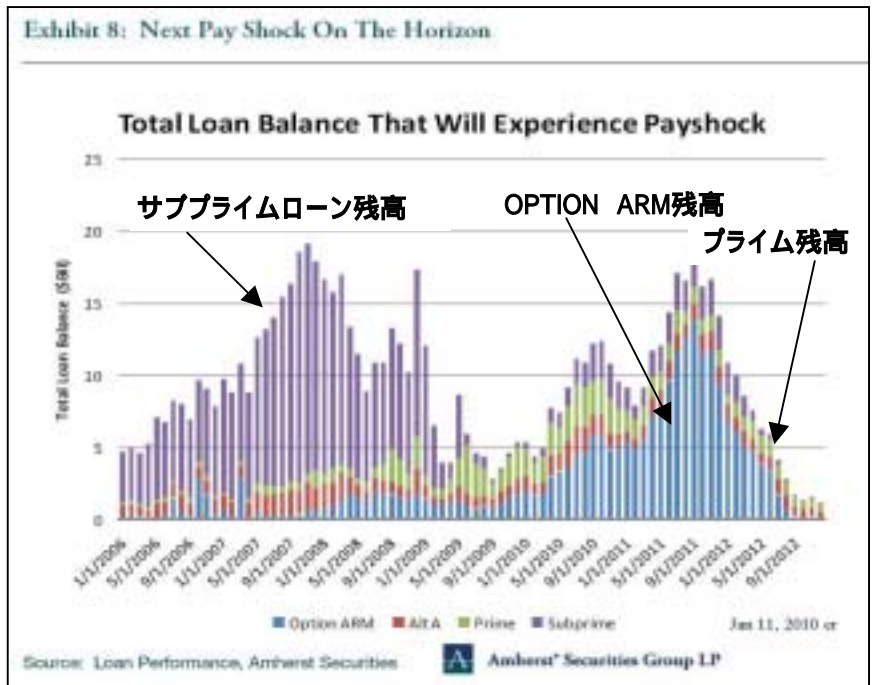


出所：米商務省

2009年末、米国政府は政府系住宅金融機関のFannie MaeとFreddie Macに対して2012年末までに発生する損失はすべて公的資金で埋め合わせると発表した。両社に対しては既に4000億ドルの政府コミットがなされており、年末時点で両社に1,110億ドルの公的資金が投入され、まだ枠はかなり余っているにもかかわらず、この時期に天井を取り外したということは、向こう3年間で両社が蒙る損失は半端な金額でないことを示唆している。

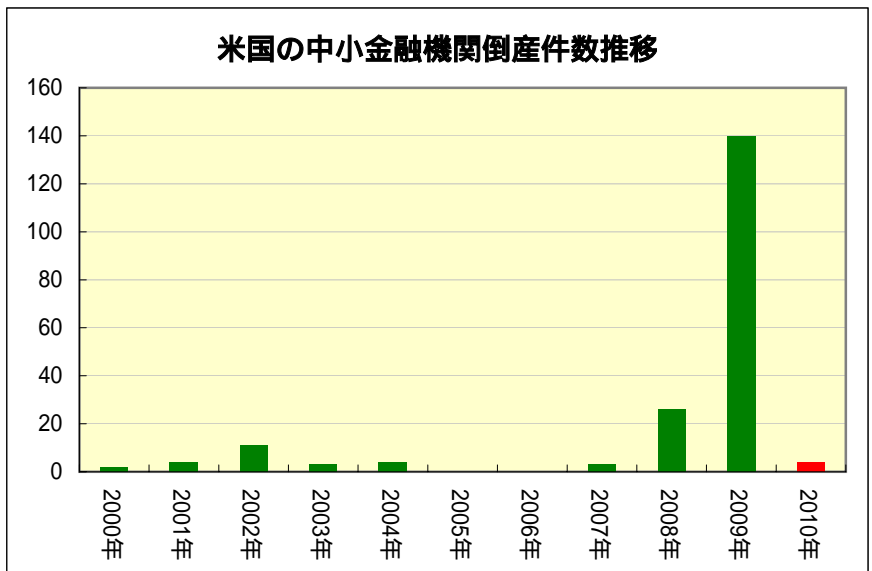
Fannie Maeは90日以上の支払い遅延が9月の4.72%から10月には4.98%に急増している。

米国の金融危機は未だ終わっていない。



今後の相場予想

金の基調は基本的には強いと思われる。米国の金融機関が立ち直っていないからだ。それはドル安を招きやすく、金高になりやすい。しかし、それがいつも一方的にそうなるのではない。時にはユーロが弱くなってドル高になったり、ドルキャリートレードが食い込んで巻き戻されてドルが買われることがある。そんなとき金価格は下落する。金に投資している人々も時々利食いするため、常に上がるわけではない。しかし、今のところ基調は強いだろう。



資料：米国預金保険公社

掲載される情報は株式会社フィスココモディティー(以下「FCOMM」という)が信頼できると判断した情報源をもとにFCOMMが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、FCOMMは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はFCOMMに帰属し、事前にFCOMMへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。FCOMMが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、FCOMMは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。FCOMMおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：株式会社フィスココモディティー
 東京都千代田区九段北4丁目1番28号 九段ファーストプレイス7階
 (Tel) 03 5212 8615 (Fax) 03 5215 8788
 (URL) <http://fisco-com.jp/index.html>